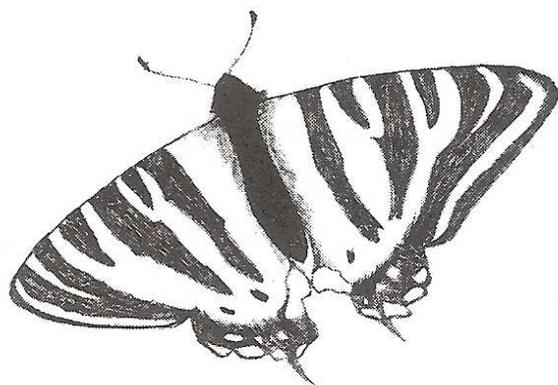


翔

百万石蝶談会 No.167

April 2004



2003年の石川・富山・岐阜のギフチョウに関する成果と知見

久慈一英

2003年は、春の低温と初夏の長雨で、なかなかリズムのとりにくい1年であった。春は2月が暖かかったものの、3月に寒さが戻り、ギフチョウの発生が読みにくかった。また、山間部は、残雪が多かった。天気の良いのに気温が低い日が続き、3月16日に本会の松井正人氏が観察した石川県の初見が、日本での初見であったようだ。私の初見は、3月21日であった。

2003年3月21日 石川県小松市遊泉寺 1♂ 久慈一英

この前後で観察できない日が連発し、周辺で多くの蝶屋さんと遭遇した。特に初見後、これだけ見られない日が続いたことは珍しい。本格的に発生したのは気温の上昇した次の週であった。

2003年3月29日 石川県小松市遊泉寺 3♂ 久慈一英

2003年3月29日 石川県小松市中海 1♂ 久慈一英

2003年3月30日 石川県小松市正蓮寺 3♂ 久慈一英

2003年3月30日 石川県小松市中海 3♂ 久慈一英

2003年3月30日 石川県能美郡辰口町灯台笹 6♂ 久慈一英

この後、天候と仕事のミスマッチでフィールドに出られず。次に出た4月中旬には低地では終盤であったが、医王山の上にはまだかなりの残雪があるという大きな違いがあった。そこで、これまであまり調査に出かけていなかった国道304号沿いに出かけた。この地域は、石川富山県境地域ではミクロ的に分布の北限にあたり、観察は結構難しい。特筆すべきは、今まで卵のみが確認されていた金沢市宮野での成虫確認である。富山県小矢部市の記録も、最近は珍しいようだ。

2003年4月13日 石川県金沢市宮野 2♀ 久慈一英

2003年4月13日 石川県金沢市東原 13♂2♀ 久慈一英

2003年4月13日 富山県東礪波郡福野町三木 11♂ 久慈一英

2003年4月13日 富山県小矢部市小森谷 2♂1♀ 久慈一英

富山県でも一気に季節は進んでいて、スレが目立つようになった。ちなみに、以下の地点では少ないと思ったら他の採集者が直前に入っていたようだ。

2003年4月15日 富山県魚津市御影 5♂1♀ 久慈一英

2003年4月16日 富山県滑川市東福寺野 5♂ 久慈一英

ゴールデンウィークは、高山市周辺を巡ったが、成果は今ひとつだった。東海北陸自動車道建設の爪痕が、痛々しく残されていた。

2003年4月26日	岐阜県吉城郡河合村月ヶ瀬	1♂目撃	久慈一英
2003年4月26日	岐阜県大野郡清見村池本	1♂1♀	久慈一英
2003年4月29日	岐阜県大野郡清見村池本	2♂	久慈一英
2003年4月29日	岐阜県大野郡清見村本谷	2♂	久慈一英
2003年4月29日	岐阜県大野郡丹生川村新張	2♂	久慈一英

白川村平瀬では、カタクリの咲く林がバイパス道路建設で破壊されていた。成虫はかろうじて観察できたが、将来は芳しくない。奥飛騨地方は、東海北陸自動車道の開通のため、周辺の観光化が進み、ギフチョウの生息地があちこちで壊されていた。

2003年5月4日	岐阜県大野郡白川村平瀬	3♀目撃	久慈一英
2003年5月4日	岐阜県大野郡白川村保木脇	1♀目撃	久慈一英
2003年5月5日	岐阜県大野郡丹生川村町方	2♂1♀	久慈一英
2003年5月17日	岐阜県大野郡清見村大原	1♂1♀	久慈一英
2003年5月17日	岐阜県大野郡清見村松谷	1♂1♀	久慈一英
2003年5月18日	岐阜県大野郡清見村松谷	1♂2♀	久慈一英
2003年5月24日	岐阜県吉城郡宮川村小坂谷	15♂3♀	久慈一英

トラブルの多い大多和峠には、とうとう巨大なコンクリートブロックが積まれ、バイクでの進入が阻止されていた。

2003年5月25日	富山県上新川郡大山町峠谷	11♂6♀	久慈一英
------------	--------------	-------	------

翌週、最後に岐阜県吉城郡神岡町深洞湿原へ行っただが、陽が差さず観察できなかった。ここは、3シーズン行っている因縁の場所だ。

ところで、富山県東礪波郡平村の庄川沿いでは、主にウスバサイシンが食草となっているが、2003年5月、杉植林地の中に多くのウスバサイシンと一部分にカンアオイが生えているのを発見した。周辺の数多いウスバサイシンにはほとんど産卵されておらず、カンアオイからは多数の卵塊と幼虫が認められた。カンアオイを食い尽くせば、周囲のウスバサイシンへ移ることが予想される。本来の産卵嗜好性が現れていて面白い状況であった。

以上、今年のギフチョウの成果と知見をまとめたが、蝶談会各位の情報に大きく依存していることは当然で、みなさんに感謝している。

石川県輪島市でウスイロコノマチョウを採集

日吉芳朗

コムラサキ（黒色型）採集のため、輪島市中段町堂下（ちゅうだまちどうした）の鳳至川河畔にバナナ・ブランデーラップ（完熟バナナにブランデーをふりかけストッキングに入れて木枝につるしたもの）をしかけたところ、迷蝶のウスイロコノマチョウ1頭が飛来したので採集した。採集時間は午前9時5分、曇天で蒸し暑く気温は29℃、コムラサキ（黒色型）2♂とともに吸汁していた。なお、本個体は裏面に波状紋を有する夏型であった。

2003年8月21日 石川県輪島市中段町堂下 1♂採集 日吉芳朗

本種は、松井（2000）によると、能登半島ではこれまでに鳳至郡門前町、羽咋市、羽咋郡富来町、同志雄町、同押水町の1市4町で記録されているものの、輪島市では未記録であった。これにより輪島市での記録種は77種類となった。

近年、輪島市では、本種以外にも台湾アサギマダラ（日吉、2001）やリュウキュウムラサキ（渡部、2003）のような迷蝶が採集・目撃されていることから、台風14号が日本海沖を通過後の2003年9月15日に輪島市舳倉島を調査したが、迷蝶に出会うことはなかった。

《参考文献》

日吉芳朗（2001）石川県輪島市で台湾アサギマダラを採集．月刊むし（370）：2.

松井正人（2000）市町村別蝶類記録一覧表．翔（147）：6-10.

渡部良樹（2003）石川県輪島市でのリュウキュウムラサキの撮影記録．蝶研フィールド（205）：25.

《ひよし よしろう 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

石川県輪島市内の注目すべき観察地での採集・観察記録

日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗

■輪島市中段町堂下

中段町堂下の鳳至川河畔は、カナムグラやススキなどで覆われており、その中にカワヤナギやオニグルミの木が点在している。その左岸のほぼ400m区間が、筆者らの観察・採集地点である。近年になり、輪島市では珍しくなったキタテハを見出したことから、比較的頻繁に通うようになったが、ヤナギがあるためコムラサキ（黒色型）をも目撃することになり、2003年には興味の対象はコムラサキに移った。

そんな折、日吉宏朗は8月6日にコムラサキの褐色型を採集した。輪島市における褐色型の記録は、1991年3月に三井町市ノ坂で採集された幼虫から羽化した1♂のみと思われ(吉村、1991)、非常に珍しい。そこで、8月10日から9月10日にかけて、観察・採集地点のほぼ中間点にある1本のオニグルミの枝にバナナ・ブランデートラップ3個をしかけた。その間の調査回数は33回で、時間帯は高温の日中を避けて、8~10時と16~17時の間の20~30分間であった。トラップに飛来した38♂5♀を含め、45♂5♀のコムラサキを採集したが、全て黒色型であり、褐色型の追加採集はできなかった。

◎2003年8月6日 輪島市中段町堂下 日吉宏朗

コムラサキ(褐色型) 1♂採集、コムラサキ(黒色型) 1♂採集

ここにセットしたトラップに、ウスイロコノマチョウが飛来した(日吉、2004)が、他にスミナガシ、サトキマダラヒカゲ、キタテハも、それぞれ多数吸汁に訪れた。スミナガシは、周辺にアワブキは無く、かなり離れた山地から飛来したものと思われる。また、輪島市内で採集されるキマダラヒカゲは、ほとんどがヤマキマダラヒカゲであることから、サトキマダラヒカゲの飛来に於いても注目される箇所である。8月10日には、キタテハとたわむれるツマグロヒョウモン1♂を目撃している。

◎2003年8月10日 輪島市中段町堂下 日吉芳朗

ツマグロヒョウモン1♂目撃、キタテハ3♀採集、コムラサキ(黒色型)2♂採集

◎2003年8月20日 輪島市中段町堂下 日吉芳朗

サトキマダラヒカゲ4♂2♀採集、キタテハ3♀採集、スミナガシ1♀採集、コムラサキ(黒色型)1♂採集

■輪島市深見町一乗

能登半島の鹿島郡鹿島町と羽咋郡志賀町にシータテハの記録があり、深見町一乗地内には、その食樹となるオヒョウがあってシータテハ生息の可能性もある(松井、2003)。一乗集落への入り口から四辻峠方面へ700~1000m入った地点で、道路は舗装されておらず、そばを流れる溪流のさわやかな音と鳥の鳴き声以外は聞こえない静寂の地である。その溪流沿いには多数のアワブキの大木がみられ、それに混じって数本のオヒョウが枝を伸ばしている。筆者らがこの地点へ通ったのは7月下旬から9月上旬にかけてで、バナナ・ブドウ・ブランデートラップ5~8個を、ほぼ30m間隔に仕掛けて観察を続けた。しかし、シータテハを見出すことなく2003年が終わった。

オヒョウ地点へいたる道路上には、8月に入るとこれまで輪島市内では見たことのない数(ときには10頭以上)のカラスアゲハ、ミヤマカラスアゲハ、クロアゲハ、モンキアゲハ、オナガアゲハが吸水に訪れていた。トラップにはスミナガシ、ヤマキマダラヒカゲ、クロヒカゲがよく訪れ、スミナガシは食草のアワブキの存在から予想していたものの、ア

オバセセリを目撃することはなかった。9月に入ると、輪島市内では比較的珍しいサカハチチョウ多数が、オトコエシの花で吸蜜しているのを観察した。

◎2003年8月2日 輪島市深見町一乗 日吉芳朗・日吉南賀子

カラスアゲハ2♂採集、ミヤマカラスアゲハ1♂採集、モンキアゲハ1♂採集、オナガアゲハ1♂採集

◎2003年8月13日 輪島市深見町一乗 日吉芳朗・日吉南賀子

カラスアゲハ2♂採集、モンキアゲハ1♂採集、オナガアゲハ1♂採集、スミナガシ3♀採集

◎2003年8月23日 輪島市深見町一乗 日吉芳朗

ヤマキマダラヒカゲ3♂1♀採集、クロヒカゲ7頭目撃

◎2003年9月12日 輪島市深見町一乗 日吉芳朗

サカハチチョウ5♀採集

■輪島市舳倉島

舳倉島は、2003年中に2度おとずれる機会があった。6月4日と9月15日で、6月の渡島の際に目撃した蝶は、ヤマトシジミとヒメアカタテハにすぎず、例年この時期に現れるアサギマダラに出会うことも無かった。

9月は、台風の余波で風はかなり強かったものの、これまでに島で採集された蝶の多くを採集・目撃することができた。ヒメアカタテハはきわめて多く、モンキチョウ、ヤマトシジミがそれに次ぎ、モンシロチョウ、イチモンジセセリも多かったが、アカタテハ、ウラナミシジミ、ベニシジミ等は見あたらなかった。

◎2003年6月4日 輪島市舳倉島 日吉芳朗

ヤマトシジミ6頭目撃、ヒメアカタテハ2頭目撃

◎2003年9月15日 輪島市舳倉島 日吉芳朗

ルリタテハ1♂1♀採集、キタテハ1♀採集、ヒメアカタテハ多数目撃、モンキチョウ多数目撃、モンシロチョウ多数目撃、イチモンジセセリ多数目撃、ルリシジミ2頭目撃、ヤマトシジミ多数目撃、ウラギンシジミ1頭目撃

《参考文献》

日吉芳朗 (2004) 石川県輪島市でウスイロコノマチョウを採集. 翔 (167) : 3.

松井正人 (2003) 石川県金沢市でシータテハの生息を確認. 翔 (164) : 2.

吉村久貴 (1991) 奥能登に於ける褐色型コムラサキの記録. 翔 (91) : 1.

《ひよし よしろう 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

《ひよし ながこ 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

《ひよし あつろう 〒928-0071 輪島市輪島崎町3部24》

金沢市医王山のヒメキマダラヒカゲ

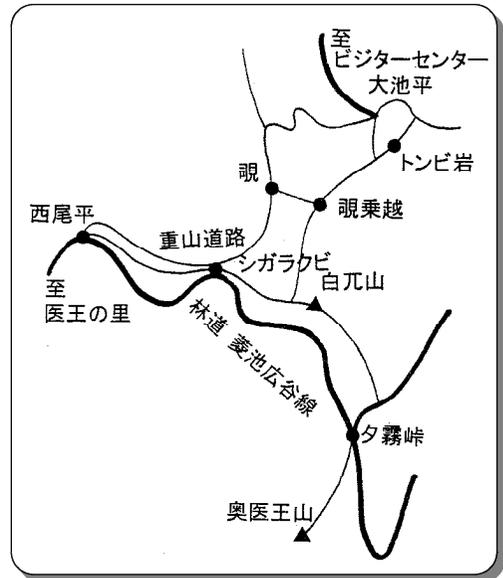
石 畑 正 夫

2003年6月、石川県金沢市医王山の西尾平から覗（のぞき）にかけての通称重山（しげやま）道路、及び白兀山（しらはげやま）頂上付近の遊歩道で、ヒメキマダラヒカゲを含む多数の蝶を採集・目撃したので報告する。

ヒメキマダラヒカゲは、石川県内において医王山より北で観察されていなく、医王山での観察例も少ない。

■2003年6月23日 石川県金沢市医王山重山道路及び白兀山 石畑正夫

ヒメキマダラヒカゲ	6頭採集多数目撃
ウラゴマダラシジミ	1頭採集
ウラキンシジミ	1頭採集
ウラナミアカシジミ	1頭採集
ウラムスジシジミ	3頭採集
ウラクロシジミ	4♂1♀採集多数目撃
メスアカミドリシジミ	1♀採集
アイノミドリシジミ	1♂採集
エゾミドリシジミ	2♂採集
オオミドリシジミ	多数目撃
トラフシジミ	1頭採集
コキマダラセセリ	3♂採集



ヒメキマダラヒカゲは、高山に棲むものよりやや大型で、翅の色も濃く、地上を低く飛び、キマダラヒカゲと間違えるくらい速く飛ぶものもいた。

なお、白兀山の遊歩道下50mの凹地には、草を食べているニホンカモシカがいたり、覗乗越へ下る途中の藪の中からは「ウー、ウー」と低音で威嚇するような声が聞こえたので、一人で入山する場合は呼子笛や鈴など、それなりの準備が望ましい。

《いしはた まさお 〒928-0001 輪島市河井町1部17-1》

●医王山の大型ほ乳類

医王山は、白山の北方に連なることから動物相の豊かな地域で、ニホンカモシカやツキノワグマなどの大型ほ乳類の分布地となっている。ツキノワグマもたびたび目撃され、2003年には、ミツバチの巣箱を荒らした個体が、見上峠周辺で捕獲されている。

アサギマダラの交尾斑

松井 正人

アサギマダラのマーキングは、今や全国で年間3万頭前後に行われている。採集、マーク、放蝶がマーキングの一連の流れで、一時的に年間3万頭前後のアサギマダラがマーカークの手の中にある。この時に、一部のマーカークは、性別、交尾の有無、前翅長、破損の有無、新鮮度など、アサギマダラ1頭1頭について、個体データを得ている。

この中の交尾の有無とは、♀を採集したときに既交尾か未交尾かを見分けることで、方法には、触診法と視診法があり、最近では交尾斑で判別する視診法が、一般的になっている。

視診法が知られるまでは、本藤（1975）にある触診法によって、交尾の有無が調べられていた。これは、♀の腹部を軽くつまんで、しこり（精包）の有無を判断する方法だが、精包の大きさや数が一定していないので、慣れていても誤診が避けられなかった。

それに代わって登場した視診法（本田、2001）は、交尾するとできる交尾斑の有無によって見分ける方法で、肉眼で確認でき、慣れていなくても簡単に判別できる。交尾斑は、交尾口の直ぐ横に、線状あるいは一対の点状となって現れる。

視診法は、最近になって本田（2003）に詳しく紹介されている。

アサギマダラの腹部腹面



図1 ♂



図4 ♀既交尾



図2 ♀未交尾



図5 ♀既交尾

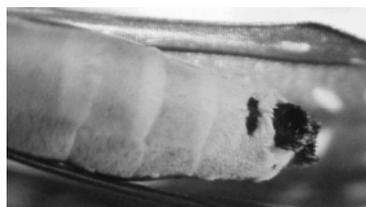


図3 ♀既交尾



図6 ♀既交尾

《参考文献》

- 本藤 昇（1975）アサギマダラの飼育・展示。インセクタリウム, 12(10):4-7.
 本田計一（2001）アサギマダラInfo. 大阪市立自然誌博物館運営マーキングリスト「asagi」: 001865.
 本田計一（2003）マダラチョウ類とアルカロイド。旅をする蝶アサギマダラ: 118-126. むし社。
 《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

素敵な建物の危険な被写体

小 幡 英 典



巢に出入りするキロスズメバチ(2003年8月10日 鳥越村数瀬にて)

鳥越村の使われていない木造の建物の窓の下に、スズメバチの巣を見つけました。撮影し易い高さなので、危険な事は承知の上で迷わずトライ。しかし、ストロボを不用意に移動してしまい万事休す！一目散に建物をまわりこむように逃げたのですが足にしがみついているハチが尾端を突き立てています。やられたと思ったものの痛くありません。太ももの脇のポケットにストロボ用のスパイラルコードが詰め込んであり、その膨らんだ部分だったのです。ズボンには6mm程のシミが残りました。カメラを持たずに逃げてきたので、刺しているところを撮れなかったのが情けない。その後、用心のためズボンのシミを沢水で薄め、30分程経ってから、おそろおそろ機材を回収しました。スズメバチには気を付けて下さいね。

この建物、スズメバチの巣がある壁とは別の壁で、ニホンミツバチが出入りしています。2階の壁にはいくつもの穴があり、夕方になるとアオゲラらしき鳥が飛んでくる、とても、素敵な？建物です。

《 おばた ひでのり 〒921-8044 金沢市米泉10-39-2 厚生年金宿舎105号 》

出発前から、次の予定

沖繩にどつぶりのめり込み
そうな日吉氏、三月六日から
単身石垣島に向かうが、次回は
五月十八日から一週間の予定
と、早々と決まっている。

ハワイ特産種をウオッチング

矢田氏、またまたハワイへ。
厳しい入国チェックも何のその、
念願の特産種の為なら苦にならない。鳥と蝶に二股を
かけたが、結果はやつぱり
バードウォッチングに終始
し、蝶はモナークとピグミー
ブルーに止まった。

三月一日「かほく市」誕生

河北郡の高松町、七塚町、
宇ノ気町の三町が合併し、「か
ほく市」が誕生した。土地の
表示は、それぞれの町名が「か
ほく市」に入れ替わるだけで、
「七塚町白尾」は「かほく市
白尾」となる。

期待と不安の一人旅だったが
期待と不安がもつれ合った

初めての一人旅に出かけた日

吉氏、天候に悩まされながら
も、入野氏の名ガイドにサ
ポートされ、成果は上々。意
気揚々と石垣島から帰還した。

ギフチョウは、いつ飛ぶの

今年の桜の開花予想は三月
三十一日。昨年は、同三十日
と予想され、ギフの初飛は三
月十六日。さて、今年の初飛
は、いつだろうか。

トゲナナフシ飼育、3月に突入

ナナフシなんて、秋に死ん
じゃうんじゃないの、と思わ
れていたが、十二月に採集さ
れたトゲナナフシは、三月に
なっても元気に産卵してい
る。加湿気味に飼うのがコツ
だと浅地氏が教えてくれた。

とつくりばち七十一号発行

石川むしの会誌「とつくり
りばち」が三月十二日に届い
た。今号から、編集が三上氏
から吉川・富沢の二氏に変わ
り、今後の発行は、十二月の
年一回になるらしい。

ギフチョウ初飛は土日で決める

サラリーマン軍団、十三日、
十四日の土日逃しては、毎
日が日曜のS氏に初飛がさら
われると強化計画を組んだ
が、果たして観察できるか。

ギフチョウは今日飛ぶか

三月十三日、初飛調査に出
かけたK氏とI氏、ポカポカ
陽気の中、お目当てのポイン
トで今や遅しとギフチョウを
待ったが、キタテハが舞うば
かりだった。

今年の春が始まった

三月十四日小松市、オタマ
ジャクシが泳ぎ、タチツボス
ミレヤキンキマメザクラが咲
き、キタテハが舞う中、ギフ
チョウがフワリと現れた。

能登各地でサナエの調査

水もぬるむ陽気に誘われた
浅地、吉岡の二氏は、能登で
ヤゴすくいに励んだ。キイロ
サナエに始まり、各種サナエ
トンボをすくい回り、細い水

路にひしめくヒメクロサナエ
にビックリ仰天。

医王山のサナエトンボに要注意

ゼフの時期、生殖水域から
離れた場所を飛ぶサナエ、中
でもヒメクロサナエが要注
意。サイズと顔面黄斑の違い
から四タイプに分けられるら
しいが、標本数が少なく確
認されていない。なかなか出
会えないようので、浅地氏から
採集依頼が届いた。

例会の記録

二月十三日(金)金沢駅前
「かじ亭」にて、午後八時か
ら開催。

大雪で延期された新年会を
兼ね、近況と溢れんばかりの
今年の抱負を順に語りなが
ら、和やかな時間が過ぎて
いった。

参加は、上田、高羽、井村、
久慈、松井、浅地、日吉、細沼、
指田、山岸、石畑、大脇、徳本、
中西、生田、吉村の十六人。

【表紙デザイン：小幡英典】
【表紙イラスト：坂原 圭】

会員の動き・しゃばの動き

突然の大雪で新年会を延期

一月二十二日、金沢を襲った三年ぶりの大雪は、全く雪が無かった平野部に一晩で四十センチメートルの積雪をもたらした。電車は不通、道路も圧雪でほとんど動かないので、翌日に予定していた新年会を延期した。

ヤゴの為なら何でもできる

ヤゴを室内飼育している浅地氏、雪をかき分け厳冬の川につきかり、食欲旺盛なヤゴの為にエサを確保している。かわいいうヤゴの為なら、不思議と寒さを感じないとか。

ウラギンヒョウモンが二種

北海道のエゾウラギンではない。詳細は分からないが、全国に生息するウラギンがサトとヤマに分けられそう。

パソコンを使いこなそう

決心した日吉氏、ようやくパソコンの前に座った。キーボードをたたくのは生まれて始めてと言っているが、使いこなせばメールにデータ整理にと、用途は無限に広がる。

指田氏、インドからお呼びが

ついにインドからお呼びが掛かった指田氏、学会参加で時間が取れないと言いながら、ネットと三角紙はしっかりと携えて出かけた。

奥能登でオオムラサキ調査

日吉宏朗氏、奥能登各地でエノキの落ち葉めくりをしているが、見付かるのは三段突起ばかり。まだ見ぬ四段突起を求め、調査範囲は徐々に広がっている。

二月のポカポカ陽気に春の兆し

二十日のポカポカ陽気から三日間、日増しに気温が上昇し、二十二日の最高気温は、金沢で二十二度半と五月下旬から六月上旬の暖かさとなった。あわて者のギフチョウが顔を出さないかと、一番ギフの調査に出かけた会員が居たとか、居なかったとか。

上昇する気温に誘われて

春がそこまで来ているかのようなゾクゾクする日々が続いた三日間、じつとしてられない会員は、ギフチョウやムラサキシジミ、トゲナナフシと、思い思いの調査に出かけたが、全てボツだった。

一平方キロに八〇〇種以上

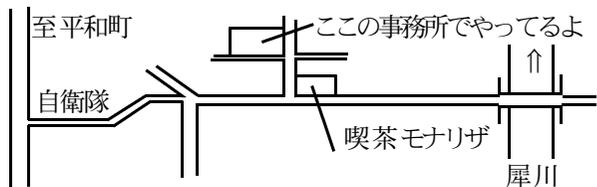
石川県ふれあい動物園近辺の動植物調査が終了した。調査範囲は、ほぼ一平方キロメートルで、昆虫は八〇〇種以上が記録されている。報告書は、六月くらいに動物園から発行される。

翔 167号

Tobu 2004年4月10日発行
百万石蝶談会

<http://homepage3.nifty.com/100man/>
金沢市大場町東871-15 松井方
☎920-3121 ☎076-258-2727
郵便振替 00750-8-562
印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から
TEL参加もOKです (076-244-3318)



目 次 (167号)

久慈一英：2003年の石川・富山・岐阜のギフチョウに関する成果と知見	1
日吉芳朗：石川県輪島市でウスイロコノマチョウを採集	3
日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗： 石川県輪島市内の注目すべき観察地での採集・観察記録	3
石畑正夫：金沢市医王山のヒメキマダラヒカゲ	6
松井正人：アサギマダラの交尾斑	7
小幡英典：素敵な建物の危険な被写体	8
編集部：会員の動き・しゃばの動き	10